

審査における新型コロナウイルス感染症対策

《受審者心得になります。熟読してご注意願います。》

- ① 審査当日、家で必ず検温を行い、発熱や風邪のような症状がある場合は受審できません。 審査会場でも検温します。37.5℃以上ある場合は受審できません。
- ② 保護者等同伴で来場の場合、受審者以外の方は審査会場のある施設内には入場せず、 基本的に送迎のみとします。

実技審査日は第一駐車場は使用不可となり、他の駐車場は点在しております。 別紙、駐車場図をご利用ください。送迎のみの乗降は、第一駐車場の使用は可です。 体育館玄関前ロータリーは使用不可です。

- ③審査会場の施設内においては、必ずマスクを着用してください。
- ④ 後日郵送する「形と実技の共通受審番号を記載した受審者確認葉書」を必ず携行すること。 上記葉書を忘れると受審できません。
- ⑤ 着替えは原則自宅で行ってください。審査会場施設の更衣室を利用する場合は、 交代で使用するなど密集をさけるよう注意してください。(観覧席の着替えは可)
- ⑥ 観覧席では、隣同士間隔をあけ(1席以上空ける)着席願います。 審査待機中、審査会場の施設内をむやみに歩き回らないでください。
- ⑦ 形審査会では木刀を必ず携行し、審査において自分の木刀を他者に使わせないように してください。また、他者の木刀を使わないでください。
- ⑧ 審査前及び審査後に、手洗い、アルコールによる手指の除菌をしてください。
- ⑨ 形・実技審査は、マスクとマウスシールド(実技)を必ずつけてください。 《マスクやマウスシールド(実技)がない場合、受審できません。》
- ⑩ 実技不合格者は、登録料を返金しますので、指示をよく聞いてください。
- ① 審査会場等にアルコール消毒液が準備されているので、各自消毒してください。
- ② 施設内では、ソーシャル・ディスタンス(人と人の距離を最低でも1メートル、できれば 2メートル)を常に保つようにしてください。
- ⑤ 今回形講習会を実施しますが、受審者は事前に稽古しておいてください。
- ④ 実技審査において、鍔ぜり合いにならないように心がけ、鍔ぜり合いになったときは お互いに速やかに解消するか、引き技を出すようにしてください。
- ⑤ 学科試験は課題に対するレポート提出です。レポートはA4サイズの指定用紙で、 必ず手書きとします。提出は審査申込みと同時に行ってください。
- ⑩ 審査会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症や疑いがある場合は、所属 する地区剣道連盟及び所轄保健所に対し、濃厚接触者の有無等について報告して下さい。